

第2回 議会報告会を終えて

去る、5月25日に第2回議会報告会を開催いたしましたところ、ご多用の中、多くの方々にお越しいただき、誠にありがとうございました。

今回の議会報告会は、平成27年10月29日の第1回開催に続き、第2回目の開催となりました。

この間、議会では、さらに議会改革を進めるため、昨年度は、議会改革検討委員会で、議員定数や、政務活動費に関する課題などについて、検討してきたところであります。

このようなことから、第2回目の議会報告会の開催までに少し、時間を要したことをご容赦くださいますようお願い申し上げます。

検討委員会での主な検討結果として、議員定数については、今年改選時には、定数30名が3名減の27名となります。

一方、政務活動費の使途については、新たに第三者機関による検査委員を設けたほか、収支報告書の関係書類を、事務局においてどなたでも閲覧できるようにし透明性の確保を図ったところです。

今後も、市民生活の向上と市政の発展のために必要な調査研究活動を行うため、政務活動費の適切な運用に議員一丸となって努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、今回の報告会で、アンケートにより皆様から頂きました貴重なご意見につきましては、今後の議会改革に取り組むうえでの参考とさせていただきます。

結びに、高岡市議会が、皆様にとって身近な議会、開かれた議会となるよう、議員全員が全力で取り組んでまいる所存でありますので、今後とも、ご支援、ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

高岡市議会議長
曾田 康司

議 会 報 告 会 実 施 報 告 書

開催日時	平成29年5月25日（木）午後7時～午後8時30分	
開催場所	ウイング・ウイング高岡 ホール	
出席議員	22名	
役割分担	司 会 金森 一郎（議会運営委員長） 報告者 永森議会運営副委員長、中川民生病院常任委員長、 野上経済消防常任委員長、坂林建設水道常任委員長、 横田総務文教常任委員長、荒木議会改革検討委員長、 狩野広報広聴委員長	
参加市民数	120名	
実 施 内 容 報 告	開催挨拶	曾田 康司 議長
	議会概要	市議会の概要（永森 茂 議会運営副委員長）
	常任委員会報告	<input type="checkbox"/> 3月定例会審査内容等について ・民生病院常任委員会（中川 加津代 委員長） ・経済消防常任委員会（野上 達夫 委員長） ・建設水道常任委員会（坂林 永喜 委員長） ・総務文教常任委員会（横田 誠二 委員長）
	その他委員会報告	<input type="checkbox"/> 委員会審査内容等について ・議会改革検討委員会（荒木 泰行 委員長） ・広報広聴委員会（狩野 安郎 委員長）
	一括質疑	別紙参照
	閉会挨拶	樋詰 和子 副議長

委員会 一括質疑等

- 1 Q 本日の報告会は、「市議会だより」に掲載されている内容と変わらず、自分の考えていたものとは違っていた。議会改革等は良くやってこられたと思うが、政務活動費の不正を行った議員が任期を全うしようとしているのは如何なものか。お金を返却したからといって終わりにしてよいのか。市議会として、議員辞職勧告を行うべきではないか。

A 高岡市議会は、平成 25 年 4 月から「高岡市議会基本条例」を施行したが、同時に「高岡市議会議員政治倫理条例」を制定した。同じタイミングで定めたのは、県内で最初であると自負している。この条文の中で「議員は、政治倫理に反する事実があるとの疑惑を持たれたときは、その疑惑を解明し、責任を明らかにするよう努めなければならない」と規定しており、各議員には遵守するよう求めているところである。最終的に政治家の出所進退は、議員本人が決めることであると認識している。
- 2 Q 自分は年金者組合に加入しているが、かつて「請願」の趣旨説明を試み、却下された。意見を述べる場を活用させて欲しい。

A 「請願」については、所管する委員会の中で内容を審査して、採択するかどうかを決定しており、ご理解を賜りたい。
- 3 Q 議員定数削減の報告があつたが、高岡市の人口、約 17 万人を勘案すれば、議員定数は 17 人でよいのではないか。

A 報告の中でも少数意見として紹介したが、議員定数については意見が分かれるところであり、多数決の結果、現行 30 人の 1 割減の 27 人としたものである。いずれにしても、議会改革に終わりはないものと考えている。
- 4 Q 今、議員定数を 17 人とするよう提案があつたが、自分は逆で、民意が反映されなくなる等の理由から、削減には反対であつた。ところで、先にもあつたが「市議会の仕組み」の説明は不要で、委員長報告も「市議会だより」を読んでいるだけ。本報告会は、市民が本当に聴きたいテーマについて、意見交換すべきではなかったか。

A 各議員は、それぞれの地域で住民の皆さまからの意見を聴いている。その意見を議会の中でも共有しているので、ご理解を賜りたい。
- 5 Q 第 1 回の議会報告会も参加させて頂いたが、スクリーンで映していた資料が手許にあつた方がよかったと思う。本資料をHP等で公表する考えは。また、第 1 回議会報告会からの改善点は。さらに、アンケート結果をHP等で公開する考えは。

A 第1回議会報告会では、報告内容をスクリーンで示していなかったが、アンケートにも要望があったことから、今回、改善したものである。資料の公表については、広報広聴委員会で前向きに検討させて頂きたい。また、第1回議会報告会の報告書、質疑は高岡市のHPで公開しているが、アンケート結果についても、同様に検討してまいりたい。

6 Q 建設水道常任委員会の報告で「高岡砺波スマートインターチェンジの今後の計画交通量と利用促進策」の説明があったが、3億2,760万円もかけたにも拘らず、「1日当たりの計画交通量が2,400台であり企業や市民にPRしていきたい」との当局からの答弁で満足したのか。

A ご意見として承る。交通ネットワーク事業費3億2,760万円は、幹線道路整備事業費として市内全域で行われる道路整備事業費として計上されている。主な事業として佐野81号線、駅南一丁目二塚線、ほか16路線、計画されている。インター周辺では、新規に工業団地も造成する計画もあり、利用促進に対して有効的な施策を講じるよう当局と今後も努めていきたい。

以上